

3 講義メモ

雨により放射線量上昇。

日本 → 扩散 → 混度(高) 日 → 扩散(たまごたちよ) → 混度(高)

(トド) → 海からは発生しない ⇒ 夏は大陸から風が吹く → 日本海側で濃度(高)

→ 海からは高くなる。またあたると濃度(高)

自然放射線 ⇒ カリウム=99%

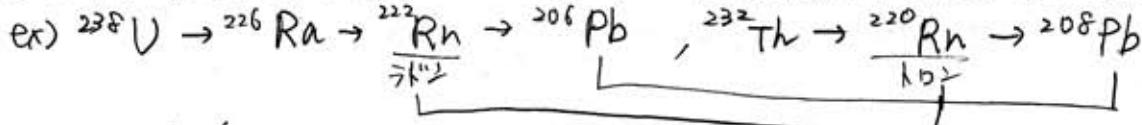
肥料 箱をつきぬけてたくさんて。五川温泉 北投石、トリガル
硫黄の中にトリガルがある。

・三つのコントロール → 連続音でかなりある。

*

1. 放射性堆変 ... この時に放射線を放出する。(この能力を放射能という)

もともと、重い元素のものが時間とともに、堆変していく、その中で、同じ元素の同位体ができる。やがて、同位体は別のものへと変める。



2. 自然放射線

① 土の性質によって線量が変動する。

花崗岩への地では線量が高くなり、一般に西高東低といわれる。

石(コンクリート)のあるところでは、ラドンが発生しているため、高くなる傾向がある。

② 体内において最も高い線量のもの ... カリウム40

カリウム40(K-40)は土壤に均一に分布し、深いところまであり、食物を採取することで、体内にとり込まれる。しかし、床暖で暖かいところではセリウム(Se-75)においては、土壤中では深くないところほど高い傾向している。

ただし、核実験や、4エレクトリック例によると、高まることがある。

③ 核医学 ... 日本人において最も多い医療被ばく。

病気を発見し、すぐに治せるとのメリットから、リスクを負って、核医学を受けている。

3. 半減期

規則性が存在し、計算によって求めることができる。実際に対数(log)を用いる。

4 感想

第1回の講座をいうこともあて、どういうもののかよく分からぬ状況で受講してみたが、とても楽しかった。放射線源などと、怖いだけでも安全なのかよく分からぬ状況で原発事故以来追っていた。しかし、この講座を通じてよく理解したのである。いろいろ分かった。私は“ことじん”文字では何がよく分からぬのが、実際に話を聞いて、意外知らぬさを感じたのだと感じた。正しい考え方と知識を持つことが重要で、いい配慮すべきことの大切である。また、この講座では化学的なこと、物理、生物学的なこともあり、普段の勉強ではそこまで単体としているものが、実際につながっているのだと改めて実感すること出来、とても濃い内容だった。